

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校
設置者名	学校法人獨協学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	47 単位	10 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/curriculum/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校
設置者名	学校法人獨協学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.dac.ac.jp/pdf/yakuinmeibo.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社員	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	開業医	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	設置校同窓会会長	R6.10.1～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	会社役員	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	会社役員	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	副市長	R8.6.1～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	医療法人財団理事長	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	学園理事長
非常勤	元私立大学学長	R7.3.31～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	会社役員	R5.8.2～ R9年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等

非常勤	会社顧問	R7. 3. 31～ R9 年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	会社役員	R5. 8. 2～ R9 年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	弁護士	R6. 4. 1～ R9 年度定時 評議員会	組織運営体制への チェック機能等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校
設置者名	学校法人獨協学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(取組) 教学委員会において、授業科目内容、講義担当者等の精査及びシラバスの編纂を実施。</p> <p>(前年度) 9月～10月：次年度年間行事予定を作成し、カリキュラム編成の確認及び検討 11月～12月：学年別カリキュラム編成作業及びシラバス構成の確認 1月～2月：講義担当者の依頼、シラバス作成依頼及び編纂 3月上旬：シラバス最終点検 3月下旬：ホームページに公開</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/curriculum/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校の成績評価の方法は、単位認定試験(筆記試験)の他に、各授業の進度に応じシラバスに明示された到達目標の成果を測るため、小テスト、レポートや実技評価等多様な方法を用い総合的に行う。ただし、臨地実習及び看護における研究については、次の方法により評価を行う。</p> <p>臨地実習：対象との相互関係や環境が学修の質に大きく影響するため、学修成果をルーブリック評価表及びポートフォリオを用いて評価する。</p> <p>看護における研究：論文内容と研究プロセスを重視するため、看護研究評価表を用いて評価する。</p> <p>成績評価の基準は、学生生活のしおり(p.72～73 本校履修規程)に示すとおり、A(80点以上) B(80点未満～70点) C(70点未満～60点) D(60点未満)とし、C評価以上を合格(単位認定)、D評価を不合格とする。</p> <p>なお、臨地実習及び看護における研究については、合否の2段階評価とする。</p> <p>これら各学生の授業科目については、シラバスに記載された成績評価の方法に基づき評価し、管理委員会及び運営委員会において審議の上、単位認定、履修認定を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、当該学年で履修すべき全科目の成績結果を合計して平均点を算出し、この平均点を成績の客観的な指標として取り扱い、ホームページで明示している。</p> <p>また臨地実習、看護における研究についても、学生に配付する各実習評価表、看護研究評価表に基づき100点満点で学修成果を算出している。</p> <p>これらの指標をもとに、学生自身が当該学年の中でどの位置にあるかを把握し、自らの授業への取り組みの主観的評価を行い、その後の学修に繋げるようにする。</p> <p>また、教員は学生の学修状況や授業評価を活用し、教育方法の改善に繋げていく。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/curriculum/syllabus.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育理念及び教育目的に基づき、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定する。</p> <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人としての倫理観に基づく看護を实践できる。 2. 看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を实践できる。 3. 保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる。 4. 看護の発展や質の向上に貢献できるよう、主体的学修能力を身につける。 5. 国際的視野を持ち看護を实践できる。 <p>卒業要件</p> <p>3年次に履修すべき全ての科目単位を修得した者を卒業とする。(本校履修規程第15条)</p> <p>第3学年の卒業判定は、最終成績が確定した1月の管理委員会及び運営委員会において、上記ディプロマ・ポリシーを踏まえ、履修規程に照らし厳正かつ適正に卒業の認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/school/educational-policy.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校
設置者名	学校法人獨協学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.dac.ac.jp/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.dac.ac.jp/finance/
財産目録	https://www.dac.ac.jp/finance/
事業報告書	https://www.dac.ac.jp/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.dac.ac.jp/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	105 単位	52 単位	28 単位	24 単位	0 単位	1 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		221 人	0 人	15 人	111 人	126 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) (取組) 教学委員会において、授業科目内容、講義担当者等の精査及びシラバスの編纂を実施。 (前年度) 9月～10月：次年度年間行事予定を作成し、カリキュラムの編成の確認及び検討 11月～12月：学年別カリキュラム編成作業及びシラバス構成の確認 1月～2月：講義担当者の依頼、シラバス作成依頼及び編纂 3月上旬：シラバス最終点検 3月下旬：ホームページに公開
成績評価の基準・方法
(概要) 本校の成績評価の方法は、単位認定試験（筆記試験）の他に、各授業の進度に応じシラバスに明示された到達目標の成果を測るため、小テスト、レポートや実技評価等多様な方法を用い総合的に行う。ただし、臨地実習及び看護における研究については、

<p>次の方法により評価を行う。</p> <p>臨地実習：対象との相互関係や環境が学習の質に大きく影響するため、学修成果をルーブリック評価表及びポートフォリオを用いて評価する。</p> <p>看護における研究：論文内容と研究プロセスを重視するため、看護研究評価表を用いて評価する。</p> <p>成績評価の基準は、学生生活のしおり（p. 72～73 本校履修規程）に示すとおり、A（80点以上）B（80点未満～70点）C（70点未満～60点）D（60点未満）とし、C評価以上を合格（単位認定）、D評価を不合格とする。</p> <p>なお、臨地実習及び看護における研究については、合否の2段階評価とする。</p> <p>これら各学生の授業科目については、シラバスに記載された成績評価の方法に基づき評価し、管理委員会及び運営委員会において審議の上、単位認定、履修認定を行う。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>本校の教育理念及び教育目的に基づき、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定する。</p> <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人としての倫理観に基づく看護を実践できる。 2. 看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる。 3. 保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる。 4. 看護の発展や質の向上に貢献できるよう、主体的学修能力を身につける。 5. 国際的視野を持ち看護を実践できる。 <p>卒業要件</p> <p>3年次に履修すべき全ての科目単位を修得した者を卒業とする。（本校履修規程第15条）</p> <p>第3学年の卒業判定は、最終成績が確定した1月の管理委員会及び運営委員会において、上記ディプロマ・ポリシーを踏まえ、履修規程に照らし厳正かつ適正に卒業の認定を行う。</p>

<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前に高等学校教育の復習と基礎学力の維持を目的に e-learning（BeNs.）学習を導入している。 ・基礎分野科目に「プロジェクト学習」を設定し、プロジェクト学習のプロセスを体験的に習得している。また、講義や演習・実習にもプロジェクト学習を取り入れている。体験を通しての学びを重視し、リフレクション学習を取り入れている。教員は、学生が体験を振り返り、看護の意味づけや成長を実感できるように支援する。 ・3年間の教科外活動として、キャリアプロジェクトを企画し、学生個々が目指す看護師になるためのビジョン&ゴールを明確にし、課題に取り組んでおり、職業アイデンティティを培っている。 ・担任制ではなくチューター制を導入し、生活面や学習面を支援している。教員は生活面や学習行動に課題があり、単位修得に課題がある学生に対しては個人面談を実施し、自己課題に応じた学習、生活指導を行う。また、メンタル面に課題がある学生に対しては、カウンセリングや医療機関受診に向けた助言を行う。
--

- ・1年次より模擬試験をはじめとする国試プロジェクトを企画し、学生個々が主体的に看護師国家試験に向けて学習に取り組んでいけるように支援している。
- ・看護実践力強化のために看護技術プロジェクトを企画し、1年次より技術習得に向けての自主学習を支援している。また、1年次技術試験、2年次技能試験、3年次OSCEの技術試験を実施しており段階的に技術力の評価を行っている。
- ・本校独自の奨学金制度（給付型・貸与型）による支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
76人 (100%)	0人 (0%)	75人 (98.7%)	1人 (1.3%)
（主な就職、業界等） 医療機関			
（就職指導内容） 附属病院による就職説明会、教員による進路面談の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） （第115回）看護師国家試験合格者：67人／88% （第114回）看護師国家試験合格者：71人／100% （第113回）看護師国家試験合格者：78人／94% （第112回）看護師国家試験合格者：80人／96% （107回～111回）100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
228人	6人	2.6%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによるカウンセリングや教員による定期的な面談・相談の実施		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000 円	400,000 円	60,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校奨学金 (貸与型) : 月額 10,000 円~50,000 円 ただし、主たる家計支持者の失職、自然災害等、不測の事態により家計状況が急変した 場合には、月額 100,000 円まで増額貸与可				
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校特別奨学金 (給付型) : 月額 20,000 円				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/school/evaluation.html
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検評価結果の客観性・透明性を高めるため「学校関係者評価委員会」において改善に必要な助言を得るとともに、本校に対する理解促進や継続した連携協力のもと学校運営に関する課題を共有する。 1. 学校関係者評価委員会 構成員 臨地実習施設関係者 (3名)、行政関係者 (1名)、高等学校関係者 (1名)、卒業生 (1名)、在校生保護者 (1名)、地域住民 (1名) 2. 主な評価項目 (1) 学校経営 (2) 教育課程・教育活動 (3) 学習成果 (4) 入学・卒業対策、就職・進路支援 (5) 学生生活の支援 (6) 財政・施設設備の管理 (7) 教職員の能力向上 (8) 広報・地域活動 3. 評価結果の活用 学校長は、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上を継続的に努めるため、評価結果を教職員に周知し共有を図るとともに、評価項目ごとの重点課題を整理し、次年度の具体的な改善方法と実施時期を策定する。 4. 結果の公表 学校関係者評価報告書を6月末までに学校ホームページに公開する。

第三者評価の委員		
所属	任期	種別
病院看護師	R7.4～R9.3	臨地実習施設関係者
訪問看護師	R7.4～R9.3	臨地実習施設関係者
市役所職員	R7.4～R9.3	行政関係者
高等学校校長	R8.4～R9.3	高等学校
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/school/evaluation.html		
(備考)		
第三者評価は未実施である。令和11年度実施予定。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dokkyomed.ac.jp/misato/
--